

ファイル自動整頓ツールVer1.3.3 運用管理者向けマニュアル

第 1.0 版

目 次

1	はじめに	1
1.1	本書の読み方	1
1.1.1	略称について	1
1.1.2	商標について	1
1.2	システム概要	1
1.3	本書の対象読者	1
1.4	注意事項	2
1.5	ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項	2
1.6	対応機種	3
1.7	対応 OS・ブラウザ	3
1.8	アドバンスドボックス	4
1.9	用語について	5
2	システム概要	6
2.1	システム構成	6
2.2	システム要件	7
2.3	処理フロー	8
2.3.1	ファイル移動処理	8
2.3.2	フォルダー削除処理	9
2.4	処理詳細	10
2.4.1	フォルダー監視処理の実行	10
2.4.2	ファイル移動処理	10
2.4.3	フォルダー削除処理	11
3	管理者設定画面について	12
3.1	Web ブラウザからのログイン方法	12
3.2	基本設定	15
3.2.1	即実行	16
3.2.2	複合機起動時の監視処理実行	17
3.3	監視フォルダー設定	18
3.3.1	監視フォルダーの接続確認	19
3.3.2	監視フォルダーの設定	20
3.4	設定のインポート／エクスポート	21
3.4.1	設定項目のエクスポート	21
3.4.2	設定項目のインポート	22

3.5	状況確認.....	23
4	ログファイルについて.....	26
4.1	ログファイルの仕組み.....	26
4.2	主なログ一覧.....	27
5	主なトラブル対処法	30
5.1	監視フォルダー情報の取得に失敗	30
5.2	アドバンスドボックスに接続できていない	30
5.3	ファイルの移動に失敗	31
5.4	サブフォルダーの削除に失敗.....	31
5.5	フォルダー監視設定が正しく設定されていない	31

1 はじめに

1.1 本書の読み方

1.1.1 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版	: Windows Vista
Microsoft® Windows 7® operating system 日本語版	: Windows 7
Microsoft® Windows 8® operating system 日本語版	: Windows 8
Microsoft® Windows 8.1® operating system 日本語版	: Windows 8.1

1.1.2 商標について

Canon、Canon ロゴ、iR、imageRUNNER、imagePRESS、Satera、LBP、MEAP、imageWARE はキヤノン株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です

1.2 システム概要

キヤノン製複合機 (imageRUNNER ADVANCE (以下複合機)) で、アドバンスドボックスに保存されたファイルを自動的に整頓するツールです。アドバンスドボックスの仕様で、1 フォルダー内に保存可能なファイル (フォルダー) 数の上限が 1000 ファイルという制限により、ファイルが保存できなくなるケースがあるため、本ツールにて定期的にフォルダーを監視し、サブフォルダーへファイルを移動します。また、本ツールにて移動されたフォルダー名を基に保持期間が過ぎたフォルダーを削除します。

1.3 本書の対象読者

本書は、ファイル自動整頓ツールの運用管理者向けマニュアルです。Windows に関する基本的な知識や操作方法は理解されているものとします。

1.4 注意事項

- ・ 本ツールの複合機への導入にあたっては、インストール用の PC が必要になります。複合機へ通信可能なインストール用 PC をご用意ください。
- ・ 管理者設定画面は複数のブラウザから操作しないでください。
- ・ 本ツールは本体内のアドバンスドボックスに対してのみ監視を行い、他の複合機のアドバンスドボックスを監視することはできません。
- ・ アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合は、複合機本体の SMB サーバー設定の「SMB サーバーを使用」及び、SMB 認証設定の認証タイプ「NTLMv2」の設定を ON にする必要があります。
- ・ アドバンスドボックスのフォルダーにアクセスする際のパス文字列は最大 128 文字までとなります。
- ・ アドバンスドボックス内にファイル・フォルダーを保存した場合やファイル名を変更した場合はファイル・フォルダーの作成日時、更新日時が変更されます。本ツールにより移動したファイルの作成日時、更新日時も同様に移動した日時へ変更されます。
- ・ 本ツールの監視フォルダー設定で監視先に個人フォルダーを設定する場合、あらかじめアドバンスドボックスのユーザーアカウントの登録と個人スペースの作成を行う必要があります。
- ・ 移動先のサブフォルダー内に既に同じ名前のファイルが存在する場合は移動できません。

1.5 ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項

- ・ ファイル格納通知ツールの監視前に、本ツールの監視処理が実行された場合、設定によってはファイル格納通知ツールの通知より前にファイルが移動され、正常に通知ができない場合があります。この場合は本ツールの基本設定にてファイルの移動待機時間を調整してください。

1.6 対応機種

本ツールに対応する機種は以下のとおりです。

◇MEAP 対応 imageRUNNER ADVANCE シリーズ

カラー複合機

- imageRUNNER ADVANCE C5035/C5030
- imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045
- imageRUNNER ADVANCE C5240/C5235
- imageRUNNER ADVANCE C5255/C5250
- imageRUNNER ADVANCE C5540/C5535
- imageRUNNER ADVANCE C5560/C5550
- imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055
- imageRUNNER ADVANCE C7270/C7260
- imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO
- imageRUNNER ADVANCE C9280 PRO/C9270 PRO

モノクロ複合機

- imageRUNNER ADVANCE 4045/4035/4025
- imageRUNNER ADVANCE 4245/4235/4225
- imageRUNNER ADVANCE 6075/6065/6055
- imageRUNNER ADVANCE 6275/6265/6255
- imageRUNNER ADVANCE 6575/6565/6555
- imageRUNNER ADVANCE 8105 PRO/8095 PRO/8085 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8295 PRO/8285 PRO/8205 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8595/8585/8505

1.7 対応 OS・ブラウザ

◇対応 OS

- Windows Vista SP2
- Windows 7
- Windows 8
- Windows 8.1
- Windows 10

◇対応ブラウザ

- Internet Explorer 8
- Internet Explorer 9
- Internet Explorer 10
- Internet Explorer 11

1.8 アドバンスドボックス

本ツールでは、アドバンスドボックスの監視フォルダーパス配下に保存されたファイルを移動します。アドバンスドボックスに保存可能なファイル数は、複合機の仕様に依存します。

複合機	最大保存ファイル数
カラー複合機	1フォルダー：
▪ imageRUNNER ADVANCE C5035/C5030	1,000ファイル/フォルダー
▪ imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045	
▪ imageRUNNER ADVANCE C5240/C5235	アドバンスドボックス全体：
▪ imageRUNNER ADVANCE C5255/C5250	100,000ファイル/フォルダー
▪ imageRUNNER ADVANCE C5540/C5535	
▪ imageRUNNER ADVANCE C5560/C5550	
▪ imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055	
▪ imageRUNNER ADVANCE C7270/C7260	
▪ imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO	
▪ imageRUNNER ADVANCE C9280 PRO/C9270 PRO	
モノクロ複合機	
▪ imageRUNNER ADVANCE 4045/4035/4025	
▪ imageRUNNER ADVANCE 4245/4235/4225	
▪ imageRUNNER ADVANCE 6075/6065/6055	
▪ imageRUNNER ADVANCE 6275/6265/6255	
▪ imageRUNNER ADVANCE 6575/6565/6555	
▪ imageRUNNER ADVANCE 8105 PRO/8095 PRO/8085 PRO	
▪ imageRUNNER ADVANCE 8295 PRO/8285 PRO/8205 PRO	
▪ imageRUNNER ADVANCE 8595/8585/8505	

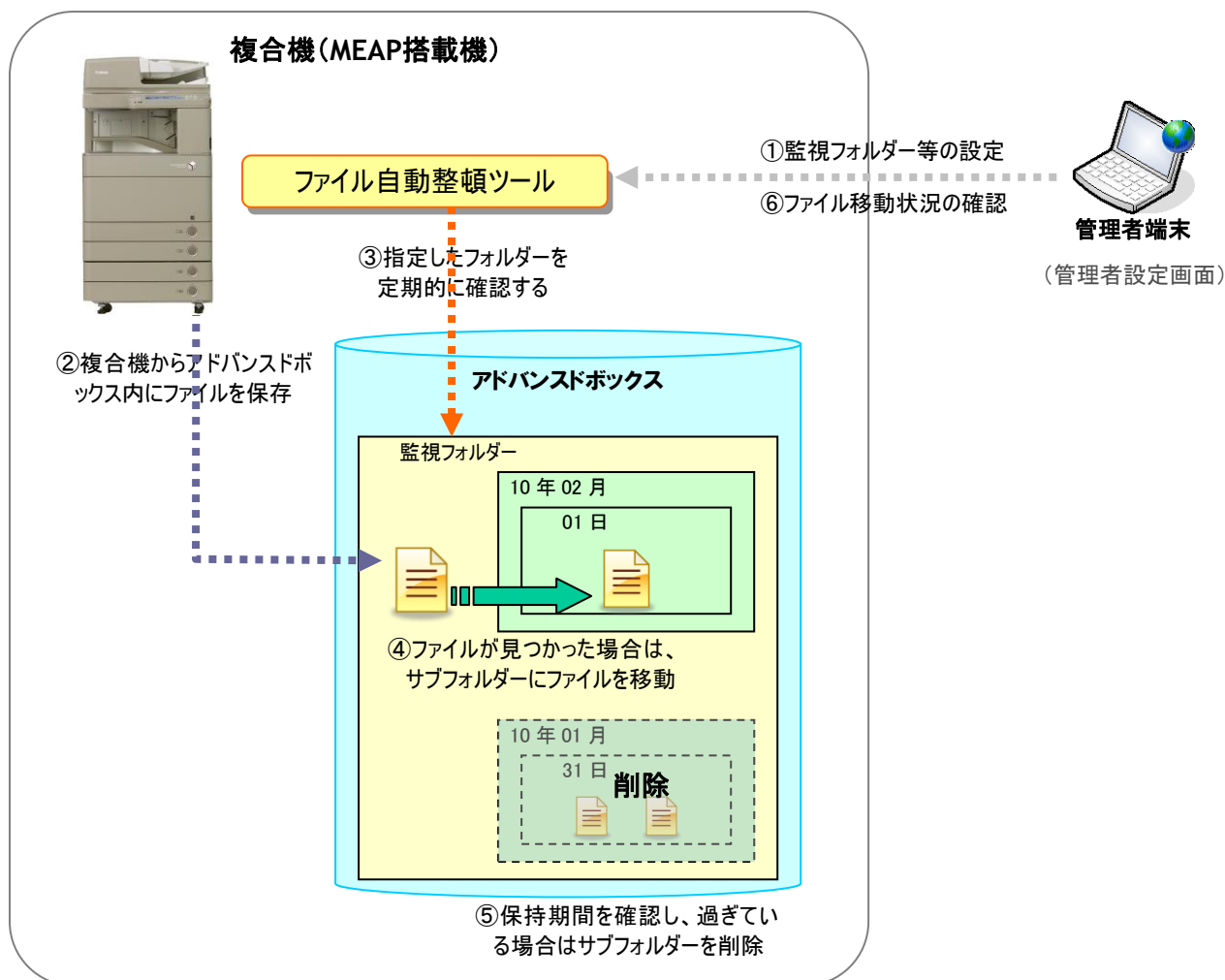
1.9 用語について

用語/略称	説明
MEAP	MEAPとは Multifunctional Embedded Application Platform の略で、複合機などの周辺機器に組み込まれるソフトウェアプラットフォーム。 Java(J2ME=Java2 Platform Micro Edition)Platform 環境を基礎にしており、その上で Java Application(MEAP Application)を実行可能としたものです。
複合機	キヤノン製複合機 imageRUNNER/ imageRUNNER ADVANCE/imagePRESS の総称
SecurityAgent サービス	複合機から送信される認証情報を元に、ActiveDirectory に対して認証処理を行う複合機本体付属の Windows サービス。 キーボード認証時に使用されます。
SMS (Service Management Service)	Web ブラウザを利用してネットワーク経由で複合機にアクセスし、MEAP アプリケーションのインストールや管理を行う複合機本体付属のソフトウェア。 使用方法については複合機本体付属のマニュアル「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。
SMB プロトコル	ネットワーク上のコンピューター間の通信プロトコルで、Windows ネットワークもこれを利用しています。ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。
NTLMv2 認証	Windows でネットワーク・ログオン時などに使われる認証方式の一つ。
ファイル格納通知ツール	キヤノンのホームページから無償でダウンロード可能なソフトウェアです。 ネットワーク上の複合機から SEND 機能を使って送信したファイルをクライアント PC が受信・格納したときに、PC のディスプレイ上に通知するツールです。 ファイルが送信されたことを音やバルーンなどでお知らせするので、他の業務に専念することができます。またログを保存することもできるので、あとから履歴を確認することができます。
アドバンスドボックス	本体に標準搭載されている HDD の領域を利用し、SMB または WebDAV プロトコルにてファイル共有を実現します。

2 システム概要

2.1 システム構成

本ツールは複合機本体のアドバンスドボックスに保存されたファイルをファイルの作成日を基にフォルダーを作成し、ファイルを移動します。また、保持期間が過ぎたファイルを削除します。



- ① 管理者端末よりファイル自動整頓ツールの管理者用画面へ接続し、監視設定を行います。
- ② 複合機からアドバンスドボックスの監視フォルダーへファイルを保存します。
- ③ ファイル自動整頓ツールにより定期的に監視対象フォルダーを監視します。
- ④ 監視対象フォルダーにファイルが存在した場合、ファイルの作成日を基にフォルダーを作成しファイルを移動します。
- ⑤ 保持期間を過ぎたフォルダーが存在するかフォルダー名より判断し、過ぎている場合は該当するフォルダーを削除します。
- ⑥ 管理者端末よりファイル自動整頓ツールの管理者用アプリケーションへ接続し、監視の状況を確認します。

2.2 システム要件

システムの要件を説明します。

■ 監視フォルダー数

監視可能な監視フォルダー数

項目	条件
監視フォルダー	最大10フォルダー

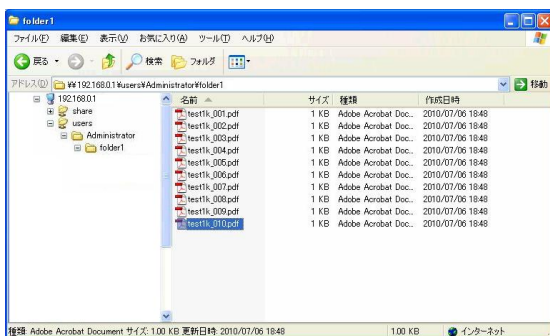
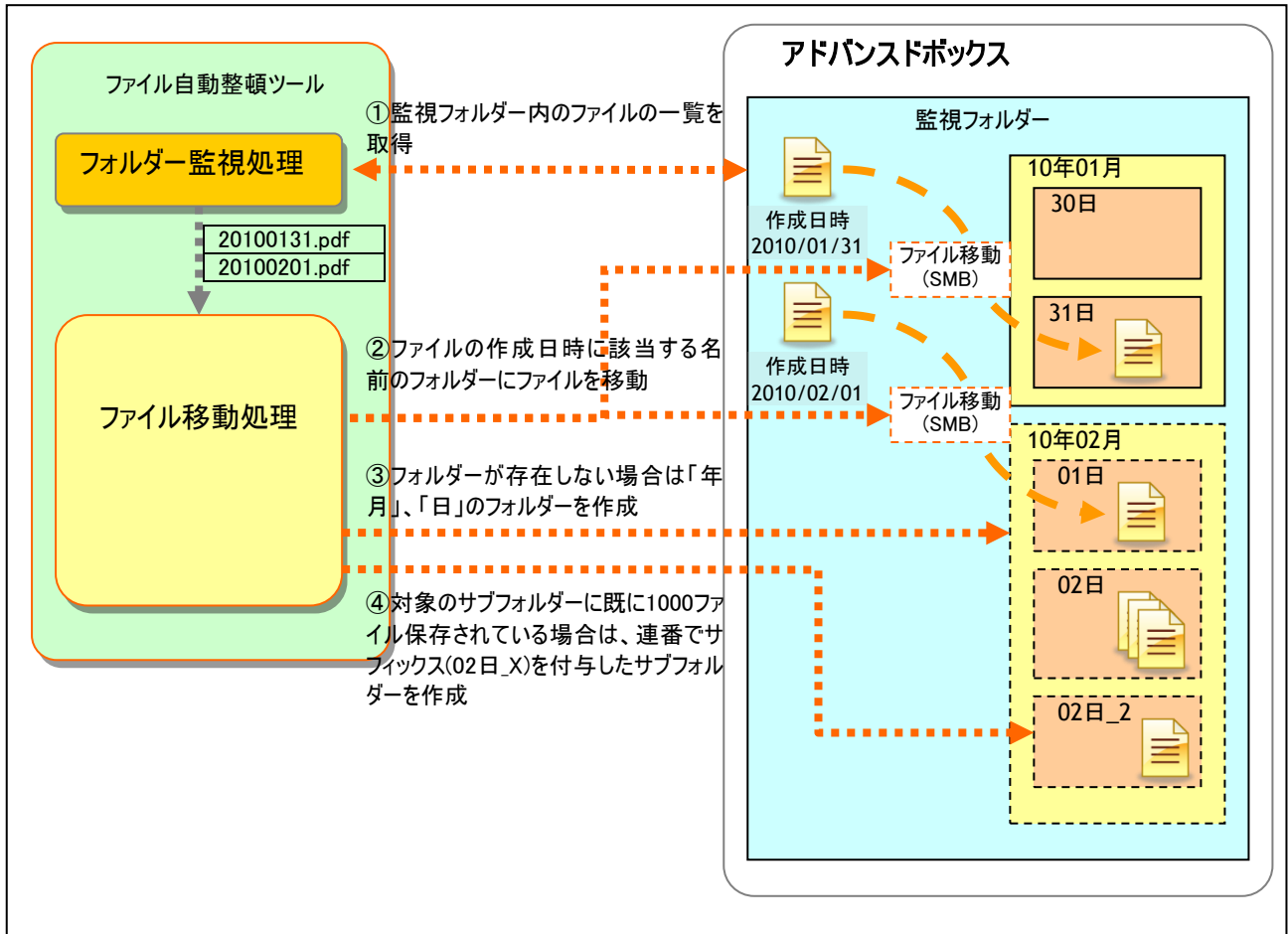
■ アドバンスドボックス接続

項目	条件
アドバンスドボックス接続	SMBプロトコル
アドバンスドボックス認証	NTLMv2認証(アドバンスドボックス接続時に認証を必要とする場合)

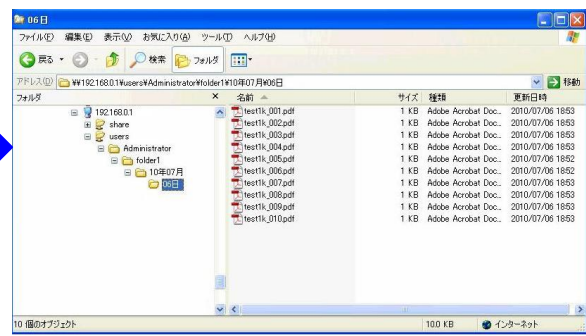
2.3 処理フロー

2.3.1 ファイル移動処理

ファイル移動処理の流れは以下の通りです。

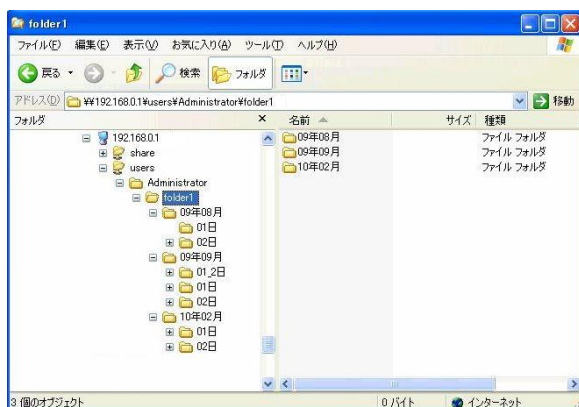
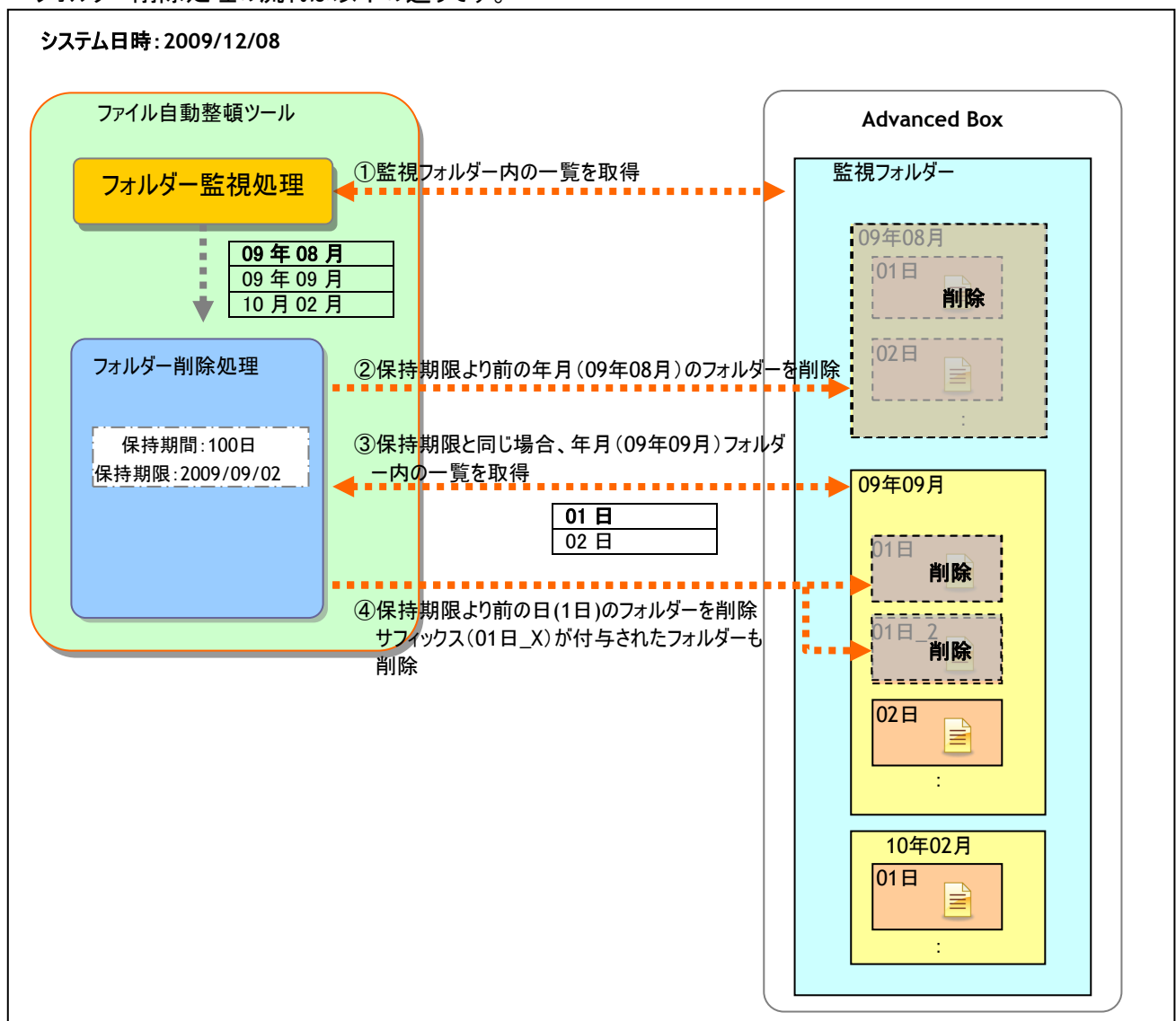


移動

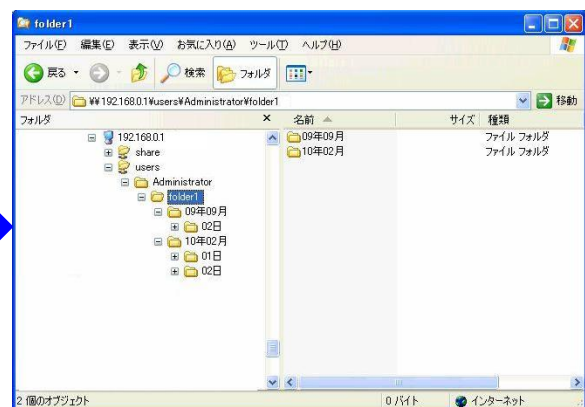


2.3.2 フォルダー削除処理

フォルダー削除処理の流れは以下の通りです。



削除

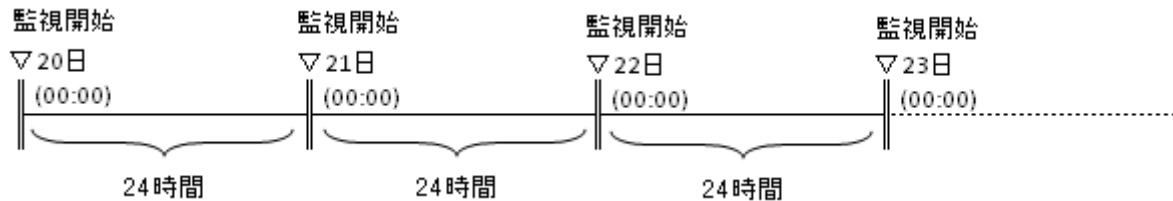


2.4 処理詳細

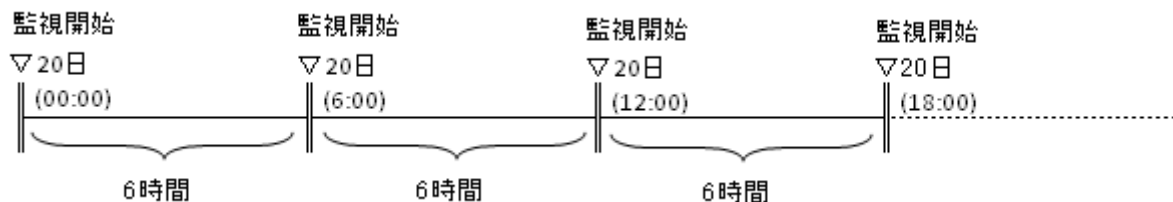
2.4.1 フォルダ監視処理の実行

フォルダ監視処理は午前 0 時から本ツールの基本設定画面で指定した監視間隔毎に実行されます。また、フォルダ監視処理にてファイル移動処理、フォルダ削除処理をそれぞれ実行します。

<監視間隔:24 時間とした場合の例>



<監視間隔:6 時間とした場合の例>



2.4.2 ファイル移動処理

ファイル移動処理はフォルダ監視処理から呼び出されて実行されます。

ファイル移動処理は、監視対象のフォルダ直下にあるファイルを、サブフォルダを作成し移動します。作成されるサブフォルダ名はファイルの作成日を基に作成されます。

<サブフォルダの作成例>

ファイル作成日:2010/07/01

移動先フォルダパス:[監視フォルダパス]¥10 年 07 月¥01 日

移動先のサブフォルダが 1000 ファイルとなった場合は、サブフォルダ名にサフィックスを付与した形でフォルダを作成します。サフィックスは 2~の連番で付与されます。

<サフィックス付のサブフォルダ作成例>

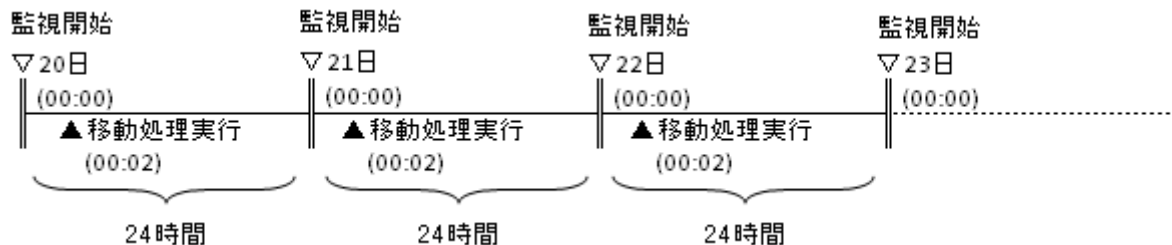
ファイル作成日:2010/07/01

移動先フォルダパス:[監視フォルダパス]¥10 年 07 月¥01 日・・・1000 ファイルとなった場合

移動先フォルダパス:[監視フォルダパス]¥10 年 07 月¥01 日_2

本ツールの基本設定画面にて「ファイルの移動待機時間」(デフォルト:2 分)が指定されている場合は、フォルダー監視処理から呼び出されたタイミングで移動処理の実行を待機します。

＜ファイルの移動待機時間を 2 分(デフォルト)とした場合の例＞



※上記はフォルダー監視処理から 00:00 にファイル移動処理が呼び出された場合の例です。

2.4.3 フォルダ削除処理

フォルダ削除処理はフォルダー監視処理から呼び出されて実行されます。

本ツールの基本設定画面にて「フォルダーを自動的に削除する」のチェックを ON に設定した場合のみ実行されます。

フォルダ削除処理は、ファイル移動処理で作成したサブフォルダーを対象に、保持期限を過ぎたサブフォルダーを削除します。(2.3.2 フォルダ削除処理の図を参照)

3 管理者設定画面について

運用管理する上で必要な機能を管理者設定画面で提供しています。ここでは管理者設定画面の詳細を説明します。

3.1 Web ブラウザからのログイン方法

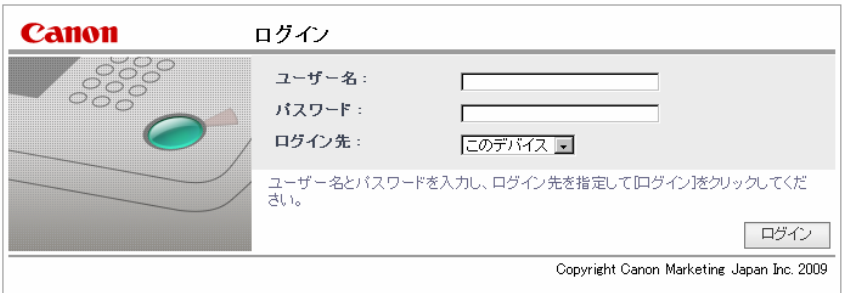
認証アプリケーションが動作している時は、Webブラウザからの複合機へのアクセスは必ず認証が行われます。(リモートログイン)

ここでは、Web ブラウザからのログイン方法を説明します。

1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の保持する Web ページへアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

以下のログイン画面が表示されます。



2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password (初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。

お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

画面が表示されないときは・・・

■お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「イントラネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

■Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)

※Java2 Runtime Environment (以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すと、ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページが表示されます。

The screenshot shows the imageRUNNER ADVANCE web interface. At the top, the header includes the logo, device name (iR-ADV C7055), and login user (1 ログアウト). The main content area is divided into several sections: 'デバイス基本情報' (Device Basic Information), 'デバイス状況' (Device Status), 'エラー情報' (Error Information), '消耗品情報' (Consumables Information), '給紙情報' (Paper Feeding Information), 'トナー残量' (Toner Remaining), '掲示板' (Bulletin Board), and 'サポートリンク' (Support Link). On the right side, there is a sidebar with 'アプリケーション' (Applications) and '管理用アプリケーション' (Management Applications). The 'ファイル自動整頓ツール' (File Auto-Organization Tool) button is highlighted with a red box in the '管理用アプリケーション' section.

用紙力セット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙力セット1	少ない	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット2	なし	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット3	少ない	B4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙力セット4	少ない	A3	普通紙1 (64~90g/m2)

アイテム名	残量
シアントナー残量	良好
マゼンタナー残量	良好
イエローナー残量	良好
ブラックナー残量	良好

4. 「リモート UI: ポータル」の「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すか、Web ブラウザにて「http://複合機の IP アドレス:8000/cmj/advbox_file_arrange」を入力し、表示された「ファイル自動整頓ツール 管理者設定ページ」から各種設定を行います

ファイル自動整頓ツール [Setting]

基本設定

監視フォルダー設定

設定のインポート/エクスポート

状況確認

基本設定

監視間隔: 24 (時間)

ファイルの移動待機時間: 2 (0 - 60 分)

☐ フォルダーを自動的に削除する

保持期間: 1 (1 - 365 日)

☐ 起動時に監視処理を実行する

設定 即実行

● 『フォルダーを自動的に削除する』を設定した場合、保持期間を過ぎたフォルダーは自動的に削除されます。必要なフォルダーは保持期間を過ぎる前に移動してください。

● 『即実行』ボタンを押下した場合、『監視間隔』に関係なく監視処理が実行されます。『監視間隔』以外に保存された設定にて実行されます。

Version 1.0 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010

ページは画面左の赤枠で囲んだ「メニュー」部分と、画面右の青枠で囲んだ「設定部分」に分けられます。メニューを押すことで、設定部分がリンクボタンに応じた画面に遷移します。

メニューに表示される内容は以下の4つになります。

基本設定
監視フォルダー設定
設定のインポート/エクスポート
状況確認

メニュー	内容	記載箇所
基本設定	監視を実行する基本動作の設定を行います	3.2 基本設定
監視フォルダー設定	監視するフォルダーの設定を行います	3.3 監視フォルダー設定
設定のインポート/エクスポート	一括設定を行うための設定項目ファイルのインポート/エクスポートを行います	3.4 設定のインポート/エクスポート
状況確認	監視処理の状況確認、ログファイルのエクスポートを行います	3.5 状況確認

3.2 基本設定

ファイル自動整頓ツールを動作させる上で必要な設定を行います。設定ファイルを使用して一括設定する場合は「3.4 設定のインポート／エクスポート」を参照してください。

ファイル自動整頓ツール [Setting]

基本設定

設定項目を保存しました

メッセージ表示欄

監視間隔: 24 (時間)

ファイルの移動待機時間: 2 (0 - 60 分)

☐ フォルダを自動的に削除する

保持期間: (1 - 365 日)

☐ 起動時に監視処理を実行する

設定 即実行

●『フォルダを自動的に削除する』を設定した場合、保持期間を過ぎたフォルダは自動的に削除されます。必要なフォルダは保持期間を過ぎる前に移動してください。

●『即実行』ボタンを押下した場合、『監視間隔』に関係なく監視処理が実行されます。『監視間隔』以外には保存された設定にて実行されます。

Version 1.0 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010

以下の各設定項目を入力し、[設定]ボタンを押します。

設定項目	説明	初期値	入力値/選択値
監視間隔	フォルダ監視処理を実行する間隔を設定します。	24	3, 6, 12, 24(時間)
ファイルの移動待機時間	ファイルの移動処理を待機する時間(分)を設定します。(ファイル格納通知ツールと併用する場合、本ツールの監視処理との競合により、通知の前にファイルが移動される可能性があります。その場合は本設定にて移動処理のタイミングを変更してください)	2	0 - 60(分)
フォルダを自動的に削除する	一定期間経過したフォルダを削除するかどうかを設定します。チェックボックスがONの場合は保持期間の入力フィールドが入力可能となります。OFFの場合は保持期間の入力フィールドが入力不可となります。	OFF	ON/OFF
保持期間	本ツールにより移動されたファイルを保持する期間を設定します。「フォルダを自動的に削除する」チェックボックスがONの場合に本設定が有効となります。	90	1 - 365(日)
起動時に監視処理を実行する	複合機の再起動時に監視処理を自動的に即実行するか否かを設定します。	OFF	ON/OFF

設定内容に誤りがあると以下のダイアログメッセージが表示されます。正しい値に修正後、[設定]ボタンを押してください。

メッセージ	原因
保持期間を指定してください	フォルダーを自動的に削除するがチェックされていて保持期間が未設定です
保持期間に範囲外の数値が設定されています	フォルダーを自動的に削除するがチェックされていて、保持期間に1～365以外が指定されています
ファイルの移動待機時間を指定してください	ファイルの移動待機時間が未設定です
ファイルの移動待機時間に範囲外の数値が設定されています	ファイルの移動待機時間に0～60以外が指定されています

設定が正常に保存された場合は画面上部のメッセージ表示欄にメッセージ「設定項目を保存しました」が表示されます。

メッセージ表示欄に表示されるメッセージは以下となります。

メッセージ	メッセージの表示条件
設定項目を保存しました	正常に設定ファイルの更新が完了した場合
監視処理を実行しました	即実行により監視処理が正常に実行された場合
フォルダー監視処理が実行中のため、フォルダー監視の即実行に失敗しました	即実行を行ったが既に監視処理が実行中の場合

3.2.1 即実行

監視処理は基本設定の「監視間隔」項目に設定した値を基に定期的に行われます。次回スケジュールされた監視の実行タイミングより前に、監視処理を実行したい場合は「即実行」ボタンを押してください。「即実行」ボタンを押して監視処理を実行した場合は、ファイルの移動待機時間に設定した時間に関係なく、ファイルの移動を開始します。また、即実行をしても監視間隔は変わりません。

即実行ボタンにより監視処理の実行が成功した場合は画面上部のメッセージ表示欄にメッセージ「監視処理を実行しました」が表示されます。また、既に監視処理が実行中の場合に即実行を行った場合はメッセージ「フォルダー監視処理が実行中のため、フォルダー監視の即実行に失敗しました」が表示され、実行できません。

3.2.2 複合機起動時の監視処理実行

❖ 基本設定		
❖ 監視間隔:	24 ▼	(時間)
❖ ファイルの移動待機時間:	2	(0 - 60 分)
<input type="checkbox"/> フォルダを自動的に削除する		
❖ 保持期間:		(1 - 365 日)
<input type="checkbox"/> 起動時に監視処理を実行する		
設定		即実行

「起動時に監視処理を実行する」チェックボックスを ON に設定した場合は、複合機が電源 OFF の状態から電源を ON にすると監視処理を即時に実行します。また、SMS からファイル自動整頓ツールを開始した場合も同様に監視処理を即時に実行します。

3.3 監視フォルダー設定

ファイル自動整頓ツールで監視を行うフォルダーの設定を行います。メニューの「監視フォルダー設定」をクリックすることで監視フォルダー設定画面が表示されます。設定可能な監視フォルダーは最大 10 個までとなります。

ファイル自動整頓ツール [Setting] [リセットURLへ](#)

基本設定
監視フォルダー設定
設定のインポート/エクスポート
状況確認

監視フォルダー設定

・『監視フォルダー1』は以下の例を参考に、アドバンスドボックスのフォルダーに対するパスを設定してください。

個人スペース	user s#公開フォルダー名#フォルダー名
共有スペース	share#フォルダー名

※個人スペースの「公開フォルダー名」は、ユーザー名が初期値として設定されています。

・『ユーザー名』『パスワード』は、「アドバンスドボックスのユーザー管理」で登録したユーザーアカウントを設定してください。

全般

☒ フォルダー監視時に認証管理を行う

☒ フォルダー1:
☐ フォルダー2:
☐ フォルダー3:
☐ フォルダー4:
☐ フォルダー5:
☐ フォルダー6:
☐ フォルダー7:
☐ フォルダー8:
☐ フォルダー9:
☐ フォルダー10:

設定

Version 1.3 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2014

赤枠の部分（フォルダー1:）をクリックすることにより、監視するフォルダーの設定項目が表示されます。設定項目が表示されている状態でもう一度クリックすることにより設定項目を非表示にする事が可能です。（フォルダー2～10についても同様です）

☒ フォルダー1:

ここをクリックすることで、各設定項目の表示／非表示を行います。

監視フォルダー: users#folder10

ユーザー名: user

パスワード: ●●●●●●●●

接続確認

☐ フォルダー2:

☐ フォルダー3:

3.3.1 監視フォルダーの接続確認

以下の各設定項目を入力し、[接続確認]ボタンを押します。接続確認により入力された監視パス、ユーザー名、パスワードでアドバンスドボックスへの接続ができることを事前に確認します。

設定項目	説明	初期値	入力値/選択値
フォルダー監視時に認証管理を行う	このチェックボックスにより監視時に認証を行うか否かを設定します。チェックボックスが ON の時、各フォルダーに監視を行う際、認証を行います。 また、チェックボックスが ON の時のみユーザー名/パスワードのグレースアウトが解除され、値が入力可能になります。	ON	ON/OFF
フォルダー（チェックボックス）	このチェックボックスにより監視するか否かを設定します。チェックボックスが ON の時、チェックの付いたフォルダーに対して監視が実行されます。	OFF	ON/OFF
監視フォルダー	監視対象とするアドバンスドボックスのフォルダーに対するパスを設定します。	空白	半角英数記号 1～128 文字
ユーザー名	アドバンスドボックスにアクセスするユーザー名を設定します。	空白	半角英数記号 1～32 文字
パスワード	アドバンスドボックスにアクセスするユーザーのパスワードを設定します。 ※ パスワードは暗号化後に複合機へ送信されます。	空白	半角英数字 32 文字

◆監視フォルダーについて

監視フォルダーは個人スペース(users)及び共有スペース(share)のパスを設定することができます。入力例は以下の通りです。

<監視フォルダー入力例>

個人スペース	users¥[公開フォルダー名]¥[フォルダー名]...
共有スペース	share¥[フォルダー名]...

Caution

- ・アドバンスドボックスのユーザー名に「/:*?"<>|」の文字が含まれている場合は、アドバンスドボックスの仕様により公開フォルダー名が日付のタイムスタンプ(YYYYMMDDHHMMSS)となります。この場合は複合機にてフォルダー名を確認し、正しいパスを監視フォルダーに設定してください。
- ・監視により移動される対象ファイルは監視フォルダーに設定した直下のファイルのみです。監視フォルダーに設定したパス配下のサブフォルダーは監視対象となりません。
- ・フォルダー監視時に認証管理を行わない場合は、アドバンスドボックスの仕様により共有スペースのみが監視可能となります。

監視フォルダーのチェックボックスが ON の状態で接続確認を実行した場合は、監視フォルダー、ユーザー名、パスワードの入力チェックを行います。チェックボックスが OFF の場合は入力チェックを行わず接続確認が実行されます。入力チェック時のエラーは以下のメッセージがダイアログで表示されます。

エラーメッセージ	原因
監視フォルダーパスを指定してください	フォルダーチェックボックスが ON で、監視フォルダーが設定されていません
監視フォルダーパスに使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、監視フォルダーパスに/:*?"<> の禁止文字が設定されています
ユーザー名を指定してください	フォルダー監視時に認証管理を行う、フォルダーチェックボックスが ON で、ユーザー名が設定されていません
ユーザー名に使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、ユーザー名に半角英数記号以外が指定されています
パスワードに使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、パスワードに全角文字 半角カナ文字 が指定されています

監視フォルダーの接続確認に成功した場合は、接続確認ボタンの右側に正常メッセージ「接続に成功しました」が表示されます。また、接続確認に失敗した場合はエラーメッセージ「接続に失敗しました」が表示されます。

各監視フォルダーの接続確認が成功する事を確認し、[設定]ボタンを押します。

3.3.2 監視フォルダーの設定

設定ボタンを押すことにより、各監視フォルダーの設定項目に入力した設定値が設定ファイルに保存され、次回監視実行時から、変更された内容で監視処理が実行されます。

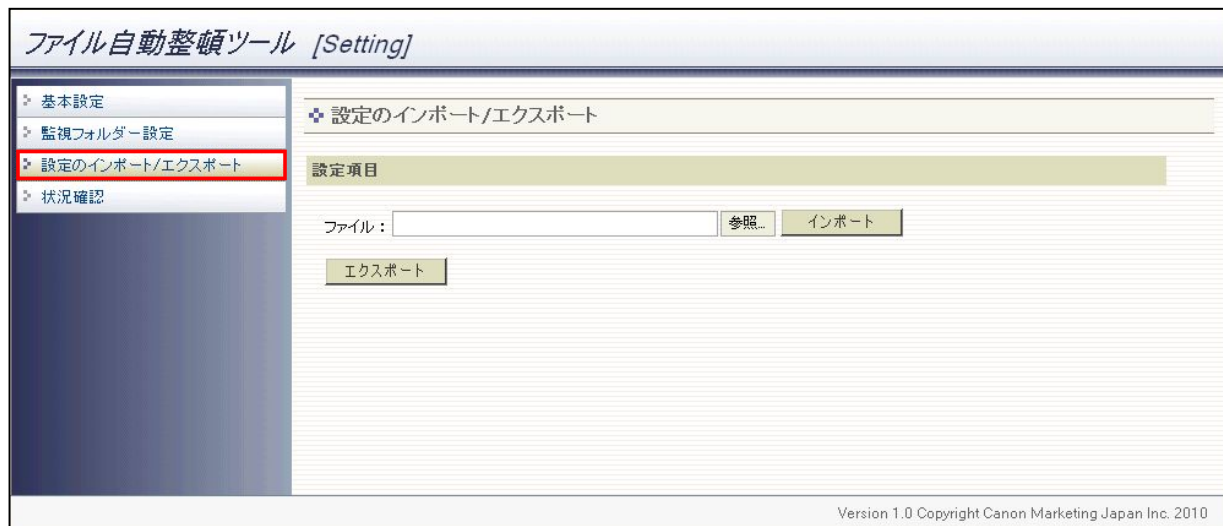
設定ボタンを押すと、接続確認と同様に入力チェックが行われます。「3.3.1 監視フォルダーの接続確認」をご参照ください。

Caution

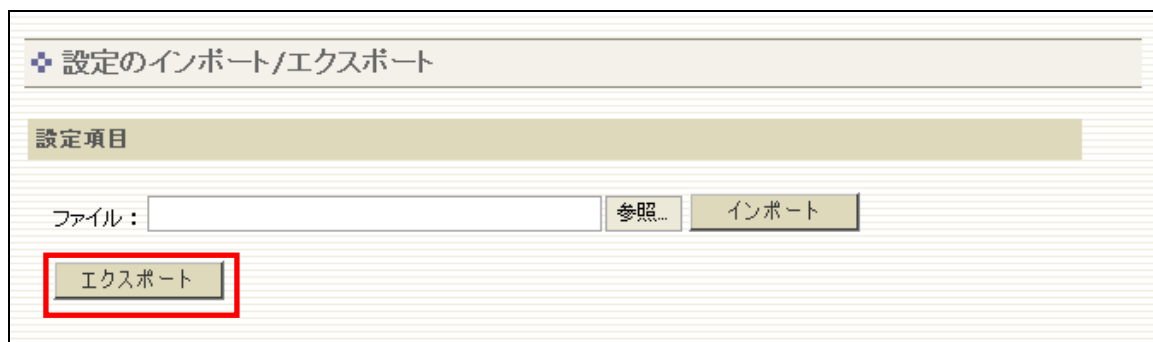
- ・監視処理実行中に設定変更を行った場合は次回監視処理から有効となります。
- ・接続確認に失敗した状態(ユーザー名を間違えた状態など)でも設定にて保存が可能です。この状態で監視処理が実行された場合はフォルダーの一覧情報取得に失敗し、エラーとなりますのでご注意ください。

3.4 設定のインポート／エクスポート

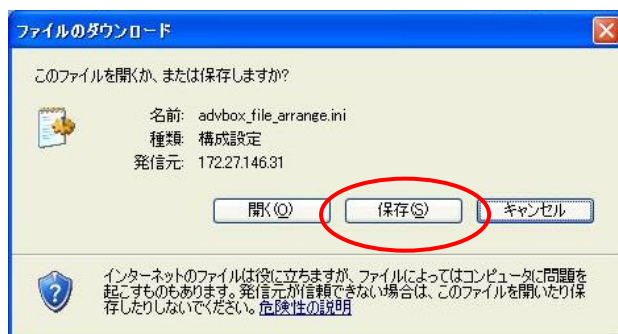
ファイル自動整頓ツールの設定項目をエクスポートし、ファイルを編集してインポートすることで設定項目を一括設定できます。また複数の複合機に対して、同一内容での設定を容易に行うことができます。



3.4.1 設定項目のエクスポート



[エクスポート]ボタンを押します。現在設定されている内容を「advbox_file_arrange.ini」ファイルとして保存します。



3.4.2 設定項目のインポート

設定のインポート/エクスポート

設定ファイルをインポートしました

設定項目

メッセージ表示欄

ファイル: c:\advbox_file_arrange.ini

参照... インポート

エクスポート

1. [参照]ボタンを押して設定したい内容の「advbox_file_arrange.ini」ファイルを選択し、「インポート」ボタンを押します。
2. 正常にインポートが完了すると、画面上部に保存完了のメッセージが表示されます。

Caution

・監視処理実行中に設定変更を行った場合は次回監視処理から有効となります。

インポートに失敗すると以下のメッセージが画面上部に表示されます。正しい内容で設定ファイルをエクスポート後、再度インポートを行ってください。

エラーメッセージ	原因
監視開始時刻が不正です	監視開始時刻が未設定、または範囲外の値が設定されています
監視間隔が不正です	監視間隔が未設定、または範囲外の値が設定されています
監視フォルダー設定が不正です	監視フォルダー設定フラグが未設定、または不正な値が設定されています
監視フォルダーパスが不正です	監視フォルダーパスが未設定、または不正な値が設定されています
ユーザー名が不正です	ユーザー名が未設定、または不正な値が設定されています
パスワードが不正です	パスワードが未設定、または不正な値が設定されています
ファイルの移動待機時間が不正です	ファイルの移動待機時間が未設定、または不正な値が設定されています
フォルダー自動削除設定が不正です	フォルダーを自動的に削除するが未設定、または不正な値が設定されています
サブフォルダー保持期間が不正です	サブフォルダー保持期間が未設定、または不正な値が設定されています
リトライ間隔が不正です	リトライ間隔が未設定、または不正な値が設定されています
リトライ回数が不正です	リトライ回数が未設定、または不正な値が設定されています

3.5 状況確認

メニューの「状況確認」を押すことにより監視処理の状況を確認できます。ファイルが移動された件数の表示、監視処理でエラーが発生した場合に一覧にエラー内容が表示されます。エラーは最新の5件のみ画面に表示されます。最新5件以外のエラーやエラー内容の詳細についてはログエクスポートにてログを確認してください。

ファイル自動整頓ツール [Setting]

✧ 基本設定
✧ 監視フォルダー設定
✧ 設定のインポート/エクスポート
✧ 状況確認

✧ 状況確認

✧ 昨日の移動ファイル数: 37 件
✧ 今日の移動ファイル数: 29 件

結果	処理日時	監視フォルダー	ファイル名	ファイル作成日時	内容
ERR	2010/07/12 18:11:12				監視フォルダー情報の取得に失敗しました

クリア

ログエクスポート

✧ エクスポートするファイル: Log0.txt ▼

エクスポート

Version 1.0 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010

クリアボタンを押すことにより一覧に表示されている最新5件分のエラー表示がクリアされます。昨日の移動ファイル数、今日の移動ファイル数、並びにログファイルについてはクリアされません。

エクスポートボタンを押すことによりログファイルをダウンロードすることができます。ログファイルをダウンロードする場合は、「エクスポートするファイル:」の横にあるプルダウンにてダウンロードするログファイルを選択し、エクスポートボタンを押してください。ログファイルの詳細については「4. ログファイルについて」をご参照ください。

状況確認画面に表示される項目は以下となります。

項目	内容	初期値
昨日の移動ファイル数	昨日分の移動ファイル数を表示します。	0 件
今日の移動ファイル数	本日分の移動ファイル数を表示します。	0 件
結果	移動に失敗した際の失敗の種別を表示します。	空白
処理日時	移動処理に失敗した日時を表示します。	空白
監視フォルダー	移動処理に失敗した際の監視フォルダーを表示します。	空白
ファイル名	移動処理に失敗したファイルの名称を表示します。	空白
ファイル作成日時	移動処理に失敗したファイルの作成日時を表示します。	空白
内容	移動処理の失敗内容を表示します。	空白
クリアボタン	ファイル移動処理ログをクリアします。	
エクスポートするファイル (プルダウン選択)	エクスポート対象のログファイルを指定します。 ※「4.ログファイルについて」を参照	Log0.txt
エクスポートボタン	指定されたログファイルをエクスポートします。	

状況確認一覧の「内容」には以下のエラーメッセージが表示されます

結果	原因	内容
WARN	設定ファイルから監視開始時刻の取得に失敗	監視開始時刻または監視間隔の取得に失敗しました。デフォルトの監視開始時刻または監視間隔で監視処理を実行します
WARN	設定ファイルの監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから監視間隔の取得に失敗	
WARN	設定ファイルの監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから監視フォルダー設定フラグの取得に失敗	監視フォルダー設定フラグの取得に失敗しました。デフォルトの監視フォルダー設定フラグで監視処理を実行します
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている。	
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている。	
WARN	設定ファイルから監視フォルダーパスの取得に失敗	監視フォルダーパスの取得に失敗しました
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	
WARN	設定ファイルからユーザー名の取得に失敗	ユーザー名の取得に失敗しました
WARN	設定ファイルのユーザー名に空文字列が設定されている	
WARN	設定ファイルのユーザー名に文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルのユーザー名に不正な文字が設定されている	
WARN	設定ファイルからパスワードの取得に失敗	パスワードの取得に失敗しました
WARN	設定ファイルのパスワードに空文字列が設定されている	
WARN	設定ファイルのパスワードが文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルのパスワードに不正な文字が設定されている	
ERROR	パスワードの復号化に失敗	パスワードの復号化に失敗しました
WARN	設定ファイルからリトライ間隔の取得に失敗	リトライ間隔またはリトライ回数の取得に失敗しました。デフォルトのリトライ間隔またはリトライ回数で監視処理を実行します
WARN	設定ファイルのリトライ間隔に 300～3600 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルからリトライ回数の取得に失敗	
WARN	設定ファイルのリトライ回数に 1～3 以外が設定されている	
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB)、リトライへ	監視フォルダー情報の取得に失敗しました
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB)(リトライ終了、またはリトライなし)	
WARN	設定ファイルから自動削除設定の取得に失敗	自動削除設定または保存期間の取得に失敗しました。デフォルトの自動削除設定または保存期間で削除処理を実行します
WARN	設定ファイルの自動削除設定に空文字列が設定されている	
WARN	設定ファイルの自動削除設定に true/false 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから保持期間の取得に失敗	
WARN	設定ファイルの保持期間に 1～365 以外が設定されている	
ERROR	フォルダー削除に失敗(SMB)	サブフォルダーの削除に失敗しました
WARN	設定ファイルからファイルの移動待機時間の取得に失敗	ファイルの移動待機時間の取得に失敗しました。デフォルトの待機間隔でファイル移動処理を実行します
WARN	設定ファイルのファイルの移動待機時間に0～60 以外が設定されている	
ERROR	移動先サブフォルダーの作成に失敗(SMB)	移動先サブフォルダーの作成に失敗しました
	移動元ファイルが存在しない(SMB)	
ERROR	ファイル移動処理失敗(SMB)	ファイルの移動に失敗しました

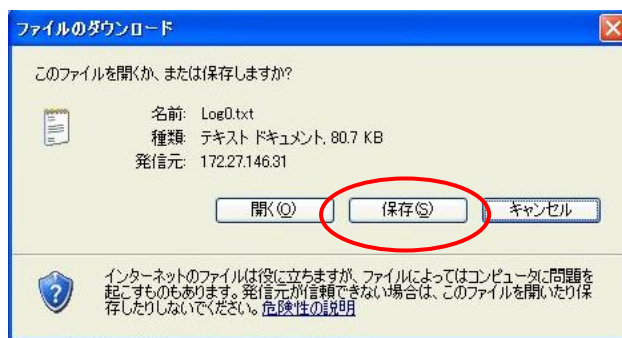
4 ログファイルについて

ファイル自動整頓ツールが出力するログについて説明します。

4.1 ログファイルの仕組み

- ・ ファイル自動整頓ツールが出力するログは、「LogX.txt」(X は 0～9 の通し番号)という名前のテキスト形式のファイルとして出力されます。
- ・ 10 個のログファイルをローテーションする仕組みで出力され、Log0.txt が常に最新のログになります。ファイルサイズが 1MB に達した時点で、次のファイルにローテーションします。
- ・ 古いログの内容は順次上書きされますので、必要に応じて定期的にはエクスポートを行ってください。

1. 「エクスポートするファイル」でリストからエクスポートするファイルを選択します。
2. [エクスポート] ボタンを押します。
3. 以下のようなダイアログが表示されますので、ダイアログの[保存]ボタンを押して任意の場所に保存してください。



4.2 主なログ一覧

種別	条件	ログメッセージ
INFO	アプリケーション開始	advbox_file_arrange start.
INFO	フォルダー監視タスクの起動	FolderWatch Task Start. (initialize)
INFO	フォルダー監視タスクの終了	FolderWatch Task Stop.
INFO	アプリケーション終了	advbox_file_arrange end.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 開始	FolderWatch Task Start.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 監視間隔による処理開始	FolderCheck process begins. [処理日時]
INFO	監視間隔による次回監視日時設定	FolderCheck. NextTime[次回監視日時]
INFO	フォルダー監視待機処理 - 監視間隔による処理終了	FolderCheck process is ended. [処理日時]
INFO	フォルダー監視待機処理 - 終了	FolderWatch Task Stop.
WARN	設定ファイルから監視開始時刻の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.starttime) is not found.
WARN	設定ファイルの監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.starttime) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視間隔の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.interval) is not found.
WARN	設定ファイルの監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.interval) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視フォルダー設定フラグの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is not found.
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている。	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is blank.
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている。	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視フォルダーパスの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is not found.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is blank.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) length is over the limit.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is invalid. (設定値)
WARN	設定ファイルからユーザー名の取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is not found.
WARN	設定ファイルのユーザー名に空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is blank.
WARN	設定ファイルのユーザー名に文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) length is over the limit.
WARN	設定ファイルのユーザー名に不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is invalid. (設定値)
WARN	設定ファイルからパスワードの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is not found.
WARN	設定ファイルのパスワードに空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is blank.
WARN	設定ファイルのパスワードが文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) length is over the limit.
WARN	設定ファイルのパスワードに不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is invalid.
ERROR	パスワードの復号化に失敗	Password decryption failed. Exception メッセージ
WARN	設定ファイルからリトライ間隔の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.retry.interval) is not found.

WARN	設定ファイルのリトライ間隔に 300～3600 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.retry.interval) is invalid.
WARN	設定ファイルからリトライ回数の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.retry.count) is not found.
WARN	設定ファイルのリトライ回数に 1～3 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.retry.count) is invalid.
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB)、リトライへ	Getting folder information failed. (URL)(ユーザー名) FolderCheck Process Failed. It will be retried. [リトライ回]
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB)(リトライ終了、またはリトライなし)	Getting folder information failed. (URL)(ユーザー名) FolderCheck Process Failed.
INFO	フォルダー監視処理開始	FolderCheck Process Start. (URL)
INFO	フォルダー監視処理終了	FolderCheck Process End. (URL)
WARN	設定ファイルから自動削除設定の取得に失敗	Config Parameter (subfolder.autodelete) is not found.
WARN	設定ファイルの自動削除設定に空文字列が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete) is blank.
WARN	設定ファイルの自動削除設定に true/false 以外が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete) is invalid.
WARN	設定ファイルから保持期間の取得に失敗	Config Parameter (subfolder.autodelete.keeperperiod) is not found.
WARN	設定ファイルの保持期間に 1～365 以外が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete.keeperperiod) is invalid.
INFO	フォルダー削除開始	START - Delete Subfolder Process
ERROR	フォルダー削除に失敗(SMB)	Delete Subfolder failed.(SMB) (削除フォルダーパス) Exception メッセージ
INFO	フォルダー削除終了	END - Delete Subfolder Process
WARN	設定ファイルからファイルの移動待機時間の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.filemove.waittime) is not found.
WARN	設定ファイルのファイルの移動待機時間に 0～60 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.filemove.waittime) is invalid.
INFO	ファイル移動開始	START - Move File Process
ERROR	移動先サブフォルダーの作成に失敗(SMB)	Making dest subfolder failed.(SMB) (作成フォルダーパス) Exception メッセージ
ERROR	ファイル移動処理失敗(SMB)	FileMove failed.(SMB) (元ファイルパス -> 先ファイルパス) Exception メッセージ
INFO	ファイル移動終了	END - Move File Process
INFO	フォルダー監視待機処理 - 手動実行開始	FolderCheck process by manual operation or at start up begins. [処理日時]
ERROR	フォルダー監視待機処理 - すでに監視処理中	FolderCheck processings failed by running FolderWatch.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 手動実行終了	FolderCheck process by manual operation or at start up is ended. [処理日時]
INFO	基本設定の変更に成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
ERROR	フォルダー監視処理が実行中の為、フォルダー監視の即実行に失敗	File move process is running now.
INFO	監視フォルダー設定の変更に成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
INFO	監視フォルダー設定の変更に失敗	ConfigFile output failure. (ファイルパス)
INFO	監視フォルダーへの接続に失敗	Confirming folder connection is fails. (SMB エラーコード)
INFO	インポートファイルを確認	HTTP Request: Filename = 指定ファイルパス, size = 指定ファイルサイズ bytes
INFO	設定のインポートに成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
ERROR	エクスポートする設定ファイルが存在しない	Received file is zero.
WARN	監視開始時刻が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.starttime) is not found.
WARN	監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.starttime) is invalid.
WARN	監視間隔が未設定	Config Parameter (folderwatch.interval) is not found.
WARN	監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.interval) is invalid.

WARN	監視フォルダー設定フラグが未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is invalid.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスが未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].path) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].path) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is invalid. (設定値)
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名が未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名に空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名が文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名に不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is invalid. (設定値)
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードが未設定	Config Parameter (foldersetting1.password) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードが文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].password) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードに不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].password) is invalid.
WARN	ファイルの移動待機時間が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.filemove.waittime) is not found.
WARN	ファイルの移動待機時間に 0~60 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.filemove.waittime) is invalid.
WARN	フォルダー自動削除が未設定	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is not found.
WARN	フォルダー自動削除に空文字列が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is blank.
WARN	フォルダー自動削除に true/false 以外が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is invalid.
WARN	フォルダー自動削除が true で、サブフォルダー保持期間が未設定	Config Parameter (key=subfolder.autodelete.keeperperiod) is not found.
WARN	フォルダー自動削除が true で、サブフォルダー保持期間に 1~365 以外が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete.keeperperiod) is invalid.
WARN	リトライ間隔が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.retry.interval) is not found.
WARN	リトライ間隔に 300~3600 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.retry.interval) is invalid.
WARN	リトライ回数が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.retry.count) is not found.
WARN	リトライ回数に 1~3 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.retry.count) is invalid.
WARN	フォルダー監視時に認証管理を行うの設定値が不正	Setting default value to the configuration file. [use.smb.authenticate]
WARN	状況確認ファイルが存在しない	FileMoveState.xml NotFound. [ファイルパス]
WARN	移動状況ファイルのファイル移動ログのクリアに失敗	Clear FileMoveState Log failed.
INFO	移動状況のクリアに成功	Clear FileMoveState Log success.
ERROR	エクスポート対象のログファイルが存在しない	HTTP Response: Unknown log file name.

5 主なトラブル対処法

CASE1

状況確認画面にエラーが表示されている。

5.1 監視フォルダー情報の取得に失敗

【原因】

- ・ アドバンスドボックスに接続できない。
- ・ 監視フォルダーパスが存在しない。

【対応】

- ・ フォルダー監視設定を確認し、接続確認を行ってください。(3.3.1 監視フォルダーの接続確認を参照してください)

5.2 アドバンスドボックスに接続できていない

【原因】

- ・ 設定が正しくされていない。
 - 「SMB サーバーを使用」が有効になっていない。
 - 「SMB 認証を使用」が有効になっていない。
 - 「SMB 認証タイプ」の「NTLMv2」が有効になっていない。
 - アドバンスドボックスの外部公開設定が「SMB で公開」になっていない。
 - アドバンスドボックスの認証管理を有効にしていない。
 - アドバンスドボックスの保存許可ファイル形式が「すべて」になっていない。
 - アドバンスドボックスに接続用のユーザーアカウントがない。またはパスワードを間違えて登録している。
 - 「設置手順書」の「インストールの準備(複合機の設定)」で実施すべき設定がされていない。
- ・ アドバンスドボックスが故障で利用できない。

【対策】

- ・ アドバンスドボックスの設定が正しく行われているか「設置手順書」を参照して確認をしてください。
- ・ アドバンスドボックスを復旧してください。

5.3 ファイルの移動に失敗

【原因】

- ・ 監視フォルダーの直下に、既に 1000 ファイル/フォルダーがある。
- ・ 移動先となるフォルダーに同一ファイル名のファイルが存在する。
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末 (PC) にて開いている。(ロックされている)
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末 (PC) より移動/削除した。

【対策】

- ・ 外部端末 (PC) にて監視フォルダーを確認してください。
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末 (PC) にて開いていないか確認してください。
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末 (PC) にて移動/削除していないか確認してください。

5.4 サブフォルダーの削除に失敗

【原因】

- ・ 削除する対象ファイルを外部端末 (PC) にて開いている。(ロックされている)
- ・ 削除する対象ファイルまたはフォルダーを外部端末 (PC) より移動/削除した。

【対策】

- ・ 削除する対象ファイルを外部端末 (PC) にて開いていないか確認してください。
- ・ 削除する対象ファイルを外部端末 (PC) にて移動/削除していないか確認してください。

CASE2

状況確認にエラーは出力されていないが、翌日の朝になってもファイルが移動または削除されていない。

5.5 フォルダー監視設定が正しく設定されていない

【原因】

- ・ 監視フォルダーが有効になっていない。

【対策】

- ・ 監視フォルダー設定画面で設定した監視フォルダーのチェックが ON となっているか確認してください。

Copyright Canon Marketing Japan Inc.2016

注意：

1. 本書の内容の一部または全体を無断で複製することは禁止されています。
2. 本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやご不審な点が見つかりましたら当社までご連絡ください。
3. 本書の誤りによる場合も含め、本書の内容がもとで発生した一切の損害につきましては、当社での責任を負いかねます。